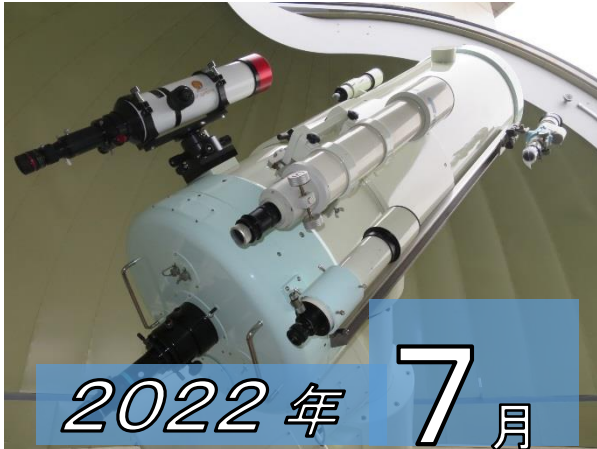


# 星の広場



〒488-0883尾張旭市城山町長池下4517番地1  
TEL 0561-52-1850 FAX 0561-52-1851



2022年 7月

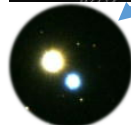
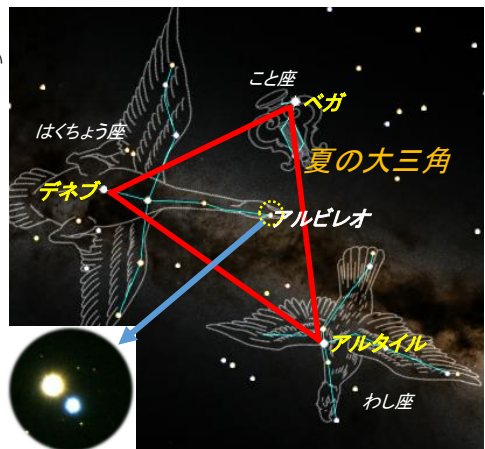
## 7月の観望天体

# 夏の<sup>なつ</sup>大三角<sup>だいさんかく</sup>と七夕<sup>たなばた</sup>の星<sup>ほし</sup>、二重星<sup>にじゅうせい</sup>アルビレオ

空が暗くなったら、東の空を見上げると、明るい1等星が3つ見つかります。これが「夏の<sup>なつ</sup>大三角<sup>だいさんかく</sup>」です。こと座<sup>こと座</sup>α星<sup>α星</sup>ベガ<sup>ベガ</sup> (0.0等)、わし座<sup>わし座</sup>α星<sup>α星</sup>アルタイル<sup>アルタイル</sup> (0.8等)、はくちょう座<sup>はくちょう座</sup>α星<sup>α星</sup>デネブ<sup>デネブ</sup> (1.3等)です。

ベガとアルタイルは、七夕<sup>たなばた</sup>の星<sup>ほし</sup>としても知られています。ベガが織り姫<sup>おひめ</sup>、アルタイルが彦星<sup>ひこぼし</sup>です。七夕<sup>たなばた</sup>の夜<sup>よる</sup>、織り姫<sup>おひめ</sup>と彦星<sup>ひこぼし</sup>は天の川<sup>あまがわ</sup>を渡<sup>わた</sup>って会うのですが、その距離<sup>きょり</sup>はおよそ16光年<sup>こうねん</sup>もあります。光<sup>ひかり</sup>の速<sup>はや</sup>さで走<sup>はし</sup>って16年<sup>ねん</sup>かかります。

はくちょう座<sup>はくちょう座</sup>のくちばし<sup>くちばし</sup>にある星<sup>ほし</sup>がアルビレオ<sup>アルビレオ</sup>という3等星<sup>さんとうせい</sup>です。このアルビレオ<sup>アルビレオ</sup>は、目<sup>め</sup>で見ると1つの星<sup>ほし</sup>に見えますが、望遠鏡<sup>ぼうえんきょう</sup>で見ると黄色<sup>きいろ</sup> (3等星<sup>さんとうせい</sup>)と青色<sup>あおいろ</sup> (5等星<sup>ごとうせい</sup>)の2つの星<sup>ほし</sup>にわかれて見える二重星<sup>にじゅうせい</sup>です。アルビレオ<sup>アルビレオ</sup>は「北天<sup>ほくてん</sup> (天上<sup>てんじょう</sup>)」の宝石<sup>ほうせき</sup>とよばれ、全天<sup>ぜんてん</sup>でもっとも美しい二重星<sup>にじゅうせい</sup>のひとつです。宮沢賢治<sup>みやざわけんじ</sup>は「銀河鉄道<sup>ぎんがてつどう</sup>の夜<sup>よる</sup>」で、その美しさ<sup>うつくし</sup>さをトパーズとサファイアにたとえました。



## 7月の夜間観望会 日曜日 19:30~20:30

※夜間観望会は「スカイワードあさひ星の会」が運営します。  
※6月26日、7・8月は小学校の運動場で開催します。  
※小中学生は保護者と一緒に来てください。  
※天候や機器の整備等で中止する場合があります。  
スカイワードあさひに16時以降にお問い合わせください。

開催日・場所	主な観望天体
3日 本地原小	月齢4の月、七夕の星(織女星・彦星)など 東の空に七夕の星ベガ(織女星)とアルタイル(彦星)が昇ってきます。
10日 渋川小	月齢11の月、夏の <sup>なつ</sup> 大三角 <sup>だいさんかく</sup> 、M4 など M4はさそり座のアンタレスのそばにある球状星団。
17日 旭丘小	夏の <sup>なつ</sup> 大三角 <sup>だいさんかく</sup> 、アルビレオ など アルビレオははくちょう座にあるオレンジとグリーンのきれいな二重星です。
24日 城山小	ダブルダブルスター、アルビレオ など WWスターはこと座の二重星。望遠鏡で見ると実はそれぞれが二重星の四重星です。

※31日は第5日曜日のため開催しません。

### 7月の太陽観望会



黒点やプロミネンスなどの太陽活動をHαフィルター太陽観測専用望遠鏡で観察しましょう。

火・土・日曜日、祝日  
18日(月)も開催

10:00~12:00  
13:00~15:00



プロミネンス  
黒点

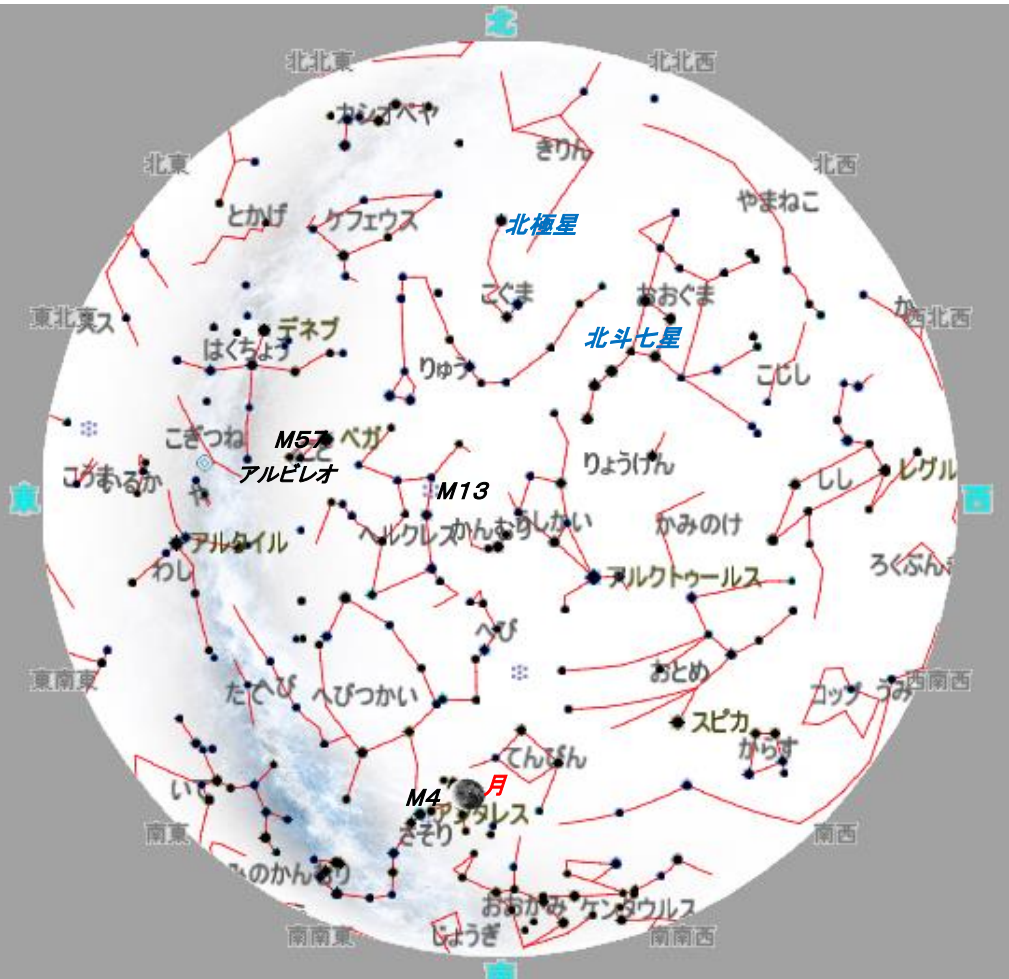
# 7月の星空

2022年7月10日 午後8時

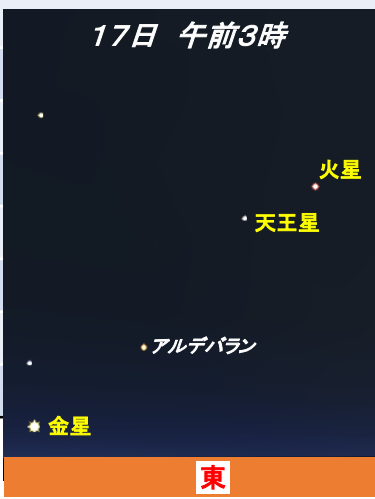
# 7月の惑星

- 水星 見られません
- 金星 明け方の東の空
- 火星 真夜中の東の空
- 木星 真夜中の東の空
- 土星 真夜中の南の空
- 天王星 明け方の東の空
- 海王星 真夜中の東の空

水星は7月16日に外合となるため太陽に近く見られません。  
 金星は明け方東の地平に上がってきます。「明けの明星」として空が明るくなっても目立っています。  
 火星は真夜中に赤い姿を見せます。今後、地球にしたいに近づいてきます。最近接近は12月です。  
 土星は8月15日に衝となります。真夜中には南東の空に高く上り観望できます。  
 木星も土星に続いて上り、東の空に明るく輝きます。  
 明け方には天王星、海王星も含めた6惑星が南から東の空に集まります。



日	曜	月齢	7月の主な天文現象
1	金	2.4	
2	土	3.4	(半夏生)
3	日	4.4	
4	月	5.4	地球が遠日点通過
5	火	6.4	
6	水	7.4	
7	木	8.4	(小暑) 七夕 上弦の月
8	金	9.4	
9	土	10.4	
10	日	11.4	
11	月	12.4	
12	火	13.4	
13	水	14.4	
14	木	15.4	満月
15	金	16.4	



日	曜	月齢	7月の主な天文現象
16	土	17.4	水星が外合
17	日	18.4	
18	月	19.4	(海の日)
19	火	20.4	
20	水	21.4	下弦の月
21	木	22.4	
22	金	23.4	
23	土	24.4	(大暑)
24	日	25.4	
25	月	26.4	
26	火	27.4	
27	水	28.4	
28	木	29.4	
29	金	0.8	新月
30	土	1.8	みずがめ座デルタ流星群が極大
31	日	2.8	

**4日 地球が太陽からもっとも遠くなる**  
 太陽を回る地球の軌道はほんの少し楕円です。そのため、太陽との距離は一定ではなく、1月上旬にもっとも近づき、7月上旬には最も遠くなります。今年の近日点は1月4日、遠日点が7月4日です。



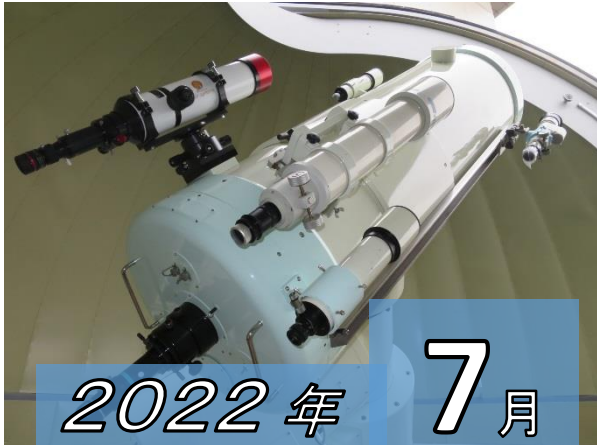
東

・スカイワードあさひ

・天体観測室

# 星の広場

〒488-0883尾張旭市城山町長池下4517番地1  
TEL 0561-52-1850 FAX 0561-52-1851



2022年 7月

7月の観望天体

なつ だいさんかく たなばた ほし にじゅうせい  
夏の<sup>なつ</sup>大三角と<sup>だいさんかく</sup>七夕の星、<sup>たなばた</sup>二重星<sup>ほし</sup>アルビレオ!<sup>にじゅうせい</sup>

7月の<sup>やかんかんぼうかい</sup>夜間観望会のおしらせ  
日曜日 19:30~20:30



開催日・場所	主な観望天体
3日 本地原小	月齢4の月、七夕の星(織女星・彦星)など 東の空に七夕の星ベガ(織女星)とアルタイル(彦星)が昇ってきます。
10日 渋川小	月齢11の月、夏の <sup>なつ</sup> 大三角、M4 など M4はさそり座のアンタレスのそばにある球状星団。
17日 旭丘小	夏の <sup>なつ</sup> 大三角、アルビレオ など アルビレオははくちょう座にあるオレンジとグリーンのきれいな二重星です。
24日 城山小	ダブルダブルスター、アルビレオ など WWスターはこと座の二重星。望遠鏡で見ると実はそれぞれが二重星の四重星です。



### ～ご注意～

※夜間観望会は「スカイワードあさひ星の会」が運営します。  
※6月第4週日曜日～8月は小学校の運動場で開催します。  
※小中学生は保護者と一緒に来てください。  
※天候や機器の整備等で中止する場合があります。  
スカイワードあさひに16時以降にお問い合わせください。

～7月の<sup>たいようかんぼうかい</sup>太陽観望会のおしらせ～  
毎週火・土・日曜日、祝日  
午前の部 10:00～12:00  
午後の部 13:00～15:00

